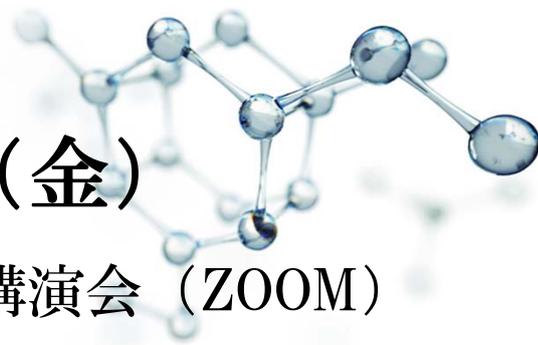


日本薬学会北陸支部特別講演会



日時：2023年 1月 20日（金）

17：00～18：30 web講演会（ZOOM）

講演1 食品成分による炎症・免疫制御を介した
肥満関連疾患の予防に関する研究

吉田 裕樹先生

九州保健福祉大学薬学部生化学講座准教授

超高齢社会の我が国において、安価で安全性の高い食品成分の疾患予防・改善への応用は、セルフメディケーションの推進や医療費削減に大きく貢献する可能性がある。演者はこれまでに、柑橘類フラボノイドによる脂肪細胞・組織の機能制御を解析し、肥満関連疾患に対する有用性評価を実施してきた。本講演では、その研究概要を紹介する。

講演2 脂肪細胞及びマクロファージ機能
に及ぼす天然薬物の探索

北中 進先生

元日本大学薬学部教授

肥満（白色脂肪細胞の肥大化）は、メタボリックシンドロームの基盤病態であり、肥満に伴い脂肪細胞の肥大化と血中に飽和脂肪酸が遊離され、マクロファージ（M1）の誘導により慢性炎症が全身性へと病態を発展させる。ここでは脂肪細胞の分化やTG蓄積の抑制の検討と共に、M1の活性化を抑制する天然薬物成分（主に生薬）の探索を行った。3T3-L1細胞の分化誘導に及ぼす影響やRAW264.7細胞の炎症性サイトカイン産生などへ影響について天然物化学の立場から解説する。

参加ご希望の方は、受付フォーム（QRコード）でお申し込みください。日本薬学会北陸支部ホームページ（特別講演会）にもリンクがあります。

受付締切り：2023年1月16日（月）

世話人：北陸大学 大本

